

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	8
サポートクラス	ウォーリア	Lv.1:	ウォーリア	性別	女子
称号クラス				年齢	秘密□
種族	ドゥアン			境遇	平凡
出自 (効果)	闘士			目標	憧憬

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	25	19	9	6	12	9	9
ボーナス	8	6	3	2	4	3	3
クラス修正	2	2	2	0	0	0	0
他修正							
能力値	10	8	5	2	4	3	3

HP	100
MP	57
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	フランベルジュ	至近	-1	15	0	0	0	-3	0
左手									
頭部	マジックスーツ				-3	13	2		-4
胴部									
補助	ガントレット					3			-1
装身具	勝利の護符						1		
能力値			8	0	5	0	3	9	15
スキル	イミュンウェイト/ウェポンルーラー		3						5
その他	オートガード/アセティック					9	6		
総計(右)			10	15					
総計(左)					2	25	12	6	15
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	4			4	+ 2 d
トラップ解除	8			8	+ 2 d
危険感知	4			4	+ 3 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
バックパック	
MPポーション	
MPポーション	
毒消し	
炎熱の砥石	
ハイMPポーション	

現在重量:	10	所持金:	1506	預金・借金:	
最大重量:	30				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
タフネス	★	—	パッシブ	—	—	—		
効果: 有角族、作成時に筋力基本値+3								
バッシュ	1	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果: 武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]								
オートガード	3	—	パッシブ	—	自身	—	—	
効果: 【物理防御力】に+ [SL×2] 【魔法防御力】に+SLする。P.100								
カバーリング	★	2	ダメージロール直前	至近	単体	自動成功	防衛中1回	
効果: 対象にカバーを行う。行動済でもカバーを行えるし、未行動時にカバーを行っても行動済にならない。P.100								
カバームーブ	3	4	カバーリング	—	自身	自動成功	シーンSL回	
効果: 《カバーリング》と同時に使用。「射程：至近」から「射程：20m」に変更。P.100								
アームズマスタリー：両手剣	1	—	パッシブ	—	自身	—	選択武器使用	
効果: 選択した武器の命中判定+1D。								
プロボック	1	4	セットアップ	10m	単体	筋力		
効果: 対象の【精神】と対決。対決の達成値+ [SL×2]。勝利した場合、対象に【逆上】を与える。								
ディフェンダー	3	3	マイナー	—	自身	自動成功		
効果: 【物理防御力】に+ [SL×3] する。シーン終了まで持続する。								
フルディフェンス	1	5	フリー	—	自身	自動成功	—	
効果: 《ディフェンダー》を同時に使用。《ディフェンダー》がフリーアクションで使用可能。								
ウェポンルーラー	1	—	パッシブ	—	自身	—	—	
効果: 武器を使用した命中判定の達成値に+ [SL+1] する。								
アセティック	1	—	パッシブ	—	自身	—	—	
効果: CL5以上で取得可能。【物理防御力】と【魔法防御力】に+3する。								
アスレチック	★	—	パッシブ	—	自身	—	—	
効果: 登攀や跳躍を行う【筋力】判定に1D。								
サーチリスク	★	—	パッシブ	—	自身	—	—	
効果: 危険感知の判定に+1D。								
イミュンウェイト	★	—	パッシブ	—	自身	—	—	
効果: 装備している防具の「移動修正」が0未満時、「移動修正：±0」								
トレーニング：筋力	★	—	パッシブ	—	自身	—	—	
効果: 選択した能力基本値に+3。								

闘技場は、ラウラの生まれ育った場所。
 両親ともに闘士だったラウラは、自身も同じ道を歩むのは当然として鍛錬を重ねていた。
 血と汗と筋肉隆々の者どもしかいない環境で、自分も同じような一生を終えるのだと漠然と考えていた。

□□あの日までは。
 その日は闘技場の設立祭で、より多くの人で賑わっていた。
 「この俺様に立ち向かう酔狂な者はおらんか」そんな事を言う酔っぱらいの力自慢に、1人の冒険者が手を挙げたのだ。
 可愛らしい獣耳、華奢な体つき。あの力自慢が腕を振り上げたらひとたまりもないだろう。かわいそうに。
 そう誰もが思っていた。□□が、一瞬で蹴散らされたのである。

それ以来、強さとは、ただ筋肉を育てる事ではないと悟り。
 世の中にはあんな可愛らしいものが溢れているという事に気づき。
 そして、冒険者になる事を決意したのである。

